

頑張れ店長

読書の季節ですが

読書の秋です。暑くも寒くもなく、次第に夜が長くなることから読書にふさわしい時期ということから、こう呼ばれるようになったそうです。仕事に追われて読書する時間がないという方もいるでしょうが、何とかやり繰りして読書の時間を確保したいもの。皆さんは、どんな本を読んでいるのか、各地の店長さんに聞きました。

「仕事は人のため」学ぶ

「店長になったとき、社長から『これからはいろいろな本を読みなさい』と言われました。店長になると自分で最終的な判断をせざるを得ないことが多くなり、そのときに自分を支えてくれるのが、読書によって培われた価値観や社会観だということです。」

「社長はどんな本をお読みになるのですか」と尋ねると、若い頃に読んで強く影響を受けたのは『カーネギー自伝』だったと言います。貧しい移民の子がアメリカの鉄鋼

王と呼ばれるまでになれたのは若い頃の読書のおかげだと知った社長は、それから読書する習慣がついたそうです。

読むと、読書の大切さ、仕事は自分のためではなく人のためにすることなどに気づかされました。それ以来、月に2、3冊の本を読んでいて、今は司馬遼太郎を全部読もうと頑張っているところですよ」（関東・A店長）

司馬遼太郎を読んでいると、もし自分が坂本龍馬や豊臣秀吉だったら、この局面でどう判断するだろうかと想像するとA店長が言います。

偉人の名言覚えて話す

「店長になると朝礼でスタッフに気合いを入れないといけないので、『偉人の名言』といった類の本を読んでいます。たとえば、ウォルト・ディズニーは『それを夢見ることができるならば、あなたはそれを実

現できる』と言っていると前置きして、『諸君もこの店を日本一素晴らしいホールにしよう』と夢見れば、いつかそれを実現できるのです。今日もその夢に向かって頑張りましょう」と朝礼を締めくくるので、おかげでいろいろな名言を覚えました」（中部・B店長）

B店長が好きな名言は、「いくら粉飾したところで、自分の生地はごまかしきれない。正直こそが処世の一番安全な道」（松下幸之助）などいろいろあるそうです。

コヴィーの7つの習慣

「本は気の向くままに読んでいます。5年ほど前にベストセラーになった『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』を読んだときは、ドラッカーをそう読めば集団をまとめ上げ、活力を引き出すことができるのだと感心し、職場で試したり、部下にも勧めました。」

最近ではステイブ・コヴィーの『7つの習慣』を読んで、主体性があること、終わりを思い描くことから始めることなど7つの

店長の投書

私の店では、

その日に店内であった微笑ましい話

や驚かされた話をスタッフがメモして、「ニコリ・ビックリ箱」に入れることにしています。「床に

落ちている玉を拾ってお客様の上皿に入れたら『ありがとう』と言われた」、「右手で発射ハンドルを握りながら、左手でスマホのゲームをやっているお客様を発見。どちらかにして!」といった体験談や目撃談が寄せられます。

その狙いは、お客様にもう一步踏み込んだ接客をしたり、お客様をじっくり観察してもらうことです。その日のナンバー1を私が選んで、翌日、「ニコリ・ビックリ賞」と金

一封を贈呈します。金一封といっても昼食代ほどですが、とても喜んでくれます。これを始めてからスタッフが接客に力を入れるようになりました。（関東・店長）

その日の出来事 スタッフがメモし 翌日選んで「賞」を

習慣を書きだして壁に貼り、毎朝声に出して読んでいます」（関東・C店長）

生身の人からは得られないモノの見方、考え方を与えてくれるのが良い本だとC店長は言います。

「宅建物」の勉強で

「最近読書の習慣がありません。というのも、今は宅地建物取引

主任の資格試験のために勉強しているからです。会社の業務に役立てばいいですし、もし転職することになったときは資格があれば有利でしょう。勉強に飽きたときは、活字本を読む気になれないので漫画雑誌を読んで気分転換しています」(中国・D店長)

D店長は昨年、日商簿記1級に合格したそうです。将来は、社会保険労務士や行政書士にもチャレンジしたいと言います。

歴史小説に浸っている

「電車通勤をしているので、Kindle(電子書籍用の端末)で読んでいます。電子書籍をダウンロードして保存するので、本屋さんに行って探す必要がありません。歴史小説が好きで、藤沢周平や浅田次郎などを読んできましたが、今は著作権が切れて無料でダウンロードできる岡本綺堂の『半七捕物帖』シリーズ、菊池寛や坂口安吾の歴史物などを読んでいます。そんな読書が仕事に役立つとは思えません。むしろ仕事を忘れてたくて、歴史小説という昔の時代の世界に浸っています」(中部・E店長)

日本の著作権法では、著者の死後50年を過ぎると著作権が切れま

す。すると自由に出版したり、電子書籍化することができるようになります。紙の本なら無料で配布するわけにはいかないでしょうが、電子書籍なら無料で配布しているので、それをダウンロードすればタダで本が読めるのですね。

どんな人でも複雑な顔が

「昔からミステリー小説が好きで読んでいます。江戸川乱歩や横溝正史から始まって、今は宮部みゆきや東野圭吾などを読んでいます。読み始めると止まらなくなつて、つい寝不足になるので困りますが、自分が知らない世界を疑似体験できるのがミステリー小説の魅力だと思います。」

そして、どんな人にもさまざま

な過去があり、人には言えない秘密があり、善良な面と邪悪な面があることに気づかされます。そう考えると、お客様の無茶なクレームにも寛容になることができます」(関東・F店長)

フランスの哲学者のデカルトは、「良き書物を読むことは、過去の最も優れた人たちと会話を交わすようなものである」と言っています。パソコンやスマホに時間を取られ、読書離れが言われていますが、読書の効用を見直してみてもいいでしょうか。